

## The 9<sup>th</sup> International Students' Start-up Conference」参加報告レポート

M.Y.さん

今回参加した「The 9<sup>th</sup> International Students' Start-up Conference」について、ご報告いたします。

2023年10月31日に韓国の釜山にある東明大学校で開催された「The 9th International Students' Start-up Conference」に参加して参りました。カンファレンスでは、グループに分かれ、テーマに関する問題点と解決策をディスカッションし、ビジネスモデルを提案しプレゼンテーション行うというものです。

私は、気候変動・カーボンニュートラル・EM(有用微生物群)がテーマで、ドイツの学生2名・韓国の学生6名・日本の学生2名というグループに割り振られました。



参加する前から分かってはいたことですが、全く歯が立ちませんでした。英語があまりにもわかりませんでした。翻訳アプリを使う暇もないくらいのスピードで英語での討論が進んでいきます。特にドイツの学生2人は環境学を学んでいる方々だったので、とんとん拍子に筋道が立てられていきました。状況の把握すらままなりません。ですがたまに、私たち日本人学生の顔を見て察し「今話していることがわかりますか?」「Do you understand?」と話しかけてくれ、翻訳アプリを介して状況説明をしてくれるメンバーたちも居ました。そのため勇気を出し自分からも「今は何について話していますか?」「私が役に立てることがありますか?」と話しかけることもできました。

私たちのグループは「Good Enterprise Award」を受賞しました。ですが本当に大事なのは何の賞を獲得するかではなく、この体験を通して自分自身が何を感じて何を得るかが大事だと思いました。



グループに貢献することはほとんどできませんでした。だからこそ日本の英語学習のレベルがよくわかりました。他にも、討論の時の国民性やプレゼンテーションにおけるスライドデザインの違い、英語の発音、学習へのモチベーション、社会問題への知識、たくさんの学びを体感することができました。ここでの経験はとても大きいです。また、学生間で関係を築くこともできました。他大学であっても日本の学生の存在は大変心強く日本での再会を願い合えるほど仲良くなることができ、日本語を勉強をしている他国の学生や、日本に興味がある方たちが話しかけてきてくれ、人脈を築くことができました。

カンファレンスへの参加の誘いを受けた時は断る気持ちの方が大きく、参加を決めた後も不安の方が大きかったのですが、参加して良かったと今は心から思います。参加をしたことで刺激を受け、視野が広がり、かけがえのない繋がりもでき、財産となるような貴重な時間となりました。

このように実りある体験をすることができたのは、準備や援助をしていただいた大学のおかげだと感じております。心より感謝申し上げます。

もし今後も本学の参加が叶うのであれば、素晴らしい体験をした者として大変嬉しく思います。ただ、英語の面ではかなり苦労したため、参加するにあたりディスカッションを聞き取れる程度には学習しておくのが好ましいと感じました。そして今回参加したのは4年次生の2人でしたが、他の日本人学生には3年次生、他国には1年次生で参加している学生も見られました。今後の大学生活や進路の選択にも影響を与えることのできるプログラムであったため、1～3年次生での参加を勧めるのもいいのではないかと考えます。

最後に、このような貴重な学びをさせていただけたこと、改めてお礼申し上げます。